

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 「みと好文カレッジ運営審議会」
- 2 開催日時 令和2年3月6日（金） 13時30分から15時00分まで
- 3 開催場所 水戸市総合教育研究所 第7研究室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 田口米蔵, 中庭陽子, 平野弥生, 助川公継, 鈴木信子, 海老澤裕
 - (2) 執行機関 野澤昌永, 山田規生, 蓮沼邦彦, 鈴木秀樹, 橋本純子, 米内健祐
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 令和元年度みと好文カレッジ事業実施報告について（公開）
 - (2) 令和2年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策（案）について（公開）
 - (3) 令和2年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標（案）について（公開）
 - (4) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
 - (1) 令和元年度第2回みと好文カレッジ運営審議会
 - (2) 令和元年度みと好文カレッジ運営審議会委員名簿
 - (3) 「さきがけ塾」第六期生 募集チラシ
- 9 発言の内容

委員長 それでは、議事に入らせていただきます。
なお、本日の案件につきましては、すべて公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。
それでは、はじめに(1)令和元年度みと好文カレッジ事業実施報告について事務局から説明をお願いします。

執行機関 (1)について、令和元年度第2回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明。

委員長 事務局から説明がありましたが、何か御意見、御質問等ありましたら、お願いいたします。

委員長 「あなたも師・達人制度」について、今年から報告書を提出してもらっているとのことですが、2回目以降の依頼は依頼者から講師に直接していると

いうことは、実際の派遣回数は8回より多いということでしょうか。

執行機関 8回よりは多いかもしれませんが、回数の把握は事務局ではしておりません。初回の利用時に、講師の連絡先は依頼者に伝えているので、2回目以降は直接やりとりをしている場合、8回より多いということになります。

委員長 なんらかの形で数字の把握ができれば、実績にもなりますし、現状ではもったいないように思います。

___委員 ほっとひといき夢らんどについて、応募人数が募集人数を上回っているが、参加者25組はどのように決めていますか。

執行機関 抽選で決めています。

___委員 落選者には参加のチャンスはないのですか。

執行機関 落選者はキャンセル待ちとなり、辞退者が出た場合は参加できます。

___委員 東湖塾の新任職員研修について、新任職員は全員参加しているのですか。

執行機関 新任職員は必ず全員参加しています。

___委員 研修の受講者は、受講後に講師のような役割を担うことになりますか。

執行機関 講師になることはありません。市民センターの職員ですので、市民センターでの生涯学習、社会教育事業に携わっていくための研修となっています。

___委員 訪問型家庭教育支援について、どのような形でやっているのですか。また、協議会の委員や支援員はどのような人がやっているのですか。

執行機関 家庭教育力の向上のための事業で、アウトリーチ型として訪問を行っています。協議会委員は、学識経験者、元教員、ソーシャルワーカー、カウンセラー、子育て支援団体の代表者などです。また、支援員は、元教員、子育て支援団体のかた、保健師などです。

___委員 この事業は支援を受けたい人からの申込みを待つのですか。

執行機関 こちらから個人的な情報を掴む手段がないため、あくまで本人からの申込みを待ち訪問している状況です。

委員長 それでは、続きまして(2)の令和2年度みと好文カレッジ運営方針及び主要施策(案)について、事務局より説明願います。

執行機関 (2)について、令和元年度第2回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明。

委員長 ただいま事務局から説明がありました。御意見、御質問などがございましたらお願いします。

___委員 訪問型家庭教育支援について、国庫から補助金が出ていますが、国から目標値は示されているのですか。件数が少ないという課題がある中で、令和2年度は頑張って訪問件数を増やさなければならないということでしょうか。

執行機関 本事業は国・県から事業費の3分の1ずつ補助金が出ていますが、令和2年度からは中核市移行に伴い国からの3分の1のみの補助金となります。課題として利用者が少ないことがあり、大幅に増やしていきたいところですが、現在の予算を考慮すると現状より少しだけ訪問件数を増やすことが現実的かと考えています。

___委員 では、特に件数を示されている訳ではないということですね。

執行機関 はい。

___委員 ほっとひといき夢らんどについて、例えば3歳で保育所等に入っている子

どもは対象にはならないのか。その場合、3歳児以上の保育料無料化の影響により対象者が少なくなってしまうのではないのでしょうか。

執行機関 はい、未就園児のみが対象となります。実施時間が午前中ということもあり、保育所等に通っている子どもは参加するのは難しいものと思われます。

___委員 ほっとひといき夢らんどについて、応募者数がとても多い状況なので、利用人数の拡大も検討していく必要があるのではないのでしょうか。各コース10回と回数も多い講座なので難しいかもしれませんが、子育て世代には意見交換の場が欲しいという人たちが多く、運営方針及び主要施策にも「情報交換の場の提供」と記載もありますので、そういう場をつくっていく意味でも、実施回数を減らして参加者を増やすことも検討してはどうでしょうか。

また、ADHDなどの学習機能障害などのある子どもを育てる親が悩みを抱えていることもあるので、このような悩みもケアしていけるような講座等が実施できれば親としては安心できるのではないのでしょうか。

また、防災教育について、東日本大震災の時もそうだったと思いますが、市民センターは災害の際に重要な拠点となりますので、防災教育のコンテンツを加えていただくことはできないのでしょうか。

執行機関 ほっとひといき夢らんどについて、令和2年度の募集チラシは配布を開始しておりますので、今からの人数変更等は難しい状況です。今後については、例えばBコースの実施をせずに応募数の多いAコースを2つに分けて実施するなど、運営スタッフの人数の関係もありますので、どのような運営方法ができるかは相談をしていきたいと思えます。

ADHD等の子どもを育てる親御さんから相談があった場合には、水戸市には子ども発達支援センターが設置してありますので、そちらに紹介するなどして対応をしていきたいと思えます。

防災については、市民センターでは防災訓練等の取組が行われているほか、さきがけ塾生の企画講座において、毎年ではないのですが防災をテーマとして取り扱っており、今年は5～6月に講座を実施する予定です。

___委員 ほっとひといき夢らんどについて、当初はくじららんどが1歳半までの子どもを対象にしているため、1歳半以上の子どもが対象になった経緯があると聞いたことがあります。くじららんどが事業終了になってしまったので、0歳～1歳半の受け入れが少なくなってしまう。3歳頃からは集団保育に移っていくため、対象年齢の変更を検討してはどうでしょうか。

また、訪問型家庭教育支援について、予算的にはこれ以上訪問件数を増やせないということでしょうか。

執行機関 支援員一人あたりの訪問回数に制限がでてしまう可能性はありますが、予算の流用や補助金の追加申請などの手段は考えられます。支援員に負担をかけずにいかに保護者のニーズに応じていけるかを検討していけたらと思えます。

委員長 事務局からの要望により、特に3点の課題について委員の皆様からの御意見をいただきたいと思えます。1つ目は、生涯学習サポーターチャレンジ講座「さきがけ塾」の受講者数の増加について、2つ目は、水戸市生涯学習サポーターの活動を、みと好文カレッジとの協働企画講座のみではなく市民セ

ンターでの活動に広げていくことについて、3つ目は、訪問型家庭教育支援の利用者数の増加や利用者の開拓についてです。

___委員 さきがけ塾について、水曜の夕方に開催ですと小さい子どもがいる人などは参加が難しいと思います。さまざまな年齢層を呼び込むことを考えたら、土日の実施や、学生を呼び込むために学生の夏休みの期間に実施する等、曜日や時間を年度ごとに変えていく必要はあるのではないのでしょうか。

___委員 さきがけ塾について、回数が多く時間のしほりもあるため、現状では参加者を増やすことは難しいと思います。例えば、YouTubeで講座の様子を配信する等して受講の機会を増やすことはできないのでしょうか。また、「こういう講座をやりたい。だからこういう人にサポーターになってもらいたい」という一本釣りのような形でさきがけ塾に参加をしてもらおうというのはどうでしょうか。スペシャリストのようなかたに参加してもらうことはコンテンツの充実にも繋がっていくものと思います。

訪問型家庭教育支援について、マーケティングの観点から考えると、子どもが産まれる前からの段階的な周知が必要ではないのでしょうか。

___委員 訪問型家庭教育支援について、未就学児は集団保育に通っている場合が多く、その先生と家庭教育について相談している人も多く、小学校に入ってからの方が家庭教育に悩みを抱える場合が多いのではないのでしょうか。全戸訪問は難しいかもしれないが、学校の先生からの依頼を受ける等して対象を拡大していくことはできないのでしょうか。

執行機関 他の市町村では、不登校や外国人等などターゲットを絞っている例もありますので、ターゲットを効率的に絞って取り組んでいきたいと思います。

___委員 市民センターについて、市民センターどうしでの情報交換はしているのですか。

執行機関 ある程度はしていると思われます。ただ、東湖塾で市民センターの職員どうしが初めて会ったというケースもあるので、あまり情報交換はできていないものと思われます。

___委員 例えば、子ども絵画教室では、市民センターによって募集方法や講座の内容も全く違ってきます。募集方法は、並んで行う場合やハガキの場合があります。内容については、下絵を事前に準備しなければならない場合もあれば当日に下絵を書く場合もあります。情報交換を行っていくことで、各講座がよりよいものになっていくのではないのでしょうか。

執行機関 市民センターがよりよい情報交換ができるよう、呼びかけていきたいと思っています。また、訪問研修の際にも、よい事例を紹介するなど指導に当たっていければと思います。

___委員 生涯学習サポーターの市民センターでの活動推進について、市民センターで生涯学習サポーターが活動をしていく形になるのでしょうか。

執行機関 元は生涯学習サポーターがみと好文カレッジや市民センターの事業の支援をする目的で始まった経緯がありますので、生涯学習サポーターのほうから各市民センターに入っていただき事業を進めていくのが理想になります。

___委員 生涯学習サポーターと市民センターを繋ぐために、事務局ではどのような取組をしてきたのでしょうか。

執行機関 今までは単発の講座をいくつかの市民センターにて実施しています。今後は、講座の運営は生涯学習サポーターが中心で行い、広報等で市民センターに関わってもらい、その中で、市民センターと生涯学習サポーターとの繋がりを少しずつ作っていかないと考えています。

___委員 地域ごとにそれぞれ課題があると思いますが、各市民センターで地域課題の抽出をしていると思われしますので、そこから生涯学習サポーターが入っていくことができればよいのではないのでしょうか。

執行機関 現在の状況では、市民センターでも生涯学習サポーターをあまり認知していない部分もありますので、まずは接点を作っていくところから少しずつ進めていきたいと思っています。

委員長 それでは、次に進めてまいります。(3)の令和2年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標(案)について、事務局より説明願います。

執行機関 (3)について、令和元年度第2回みと好文カレッジ運営審議会資料に基づき説明。

委員長 ありがとうございます。それでは、(3)について御意見、御質問等がございましたらお願いします。

委員長 コミュニティスクールと生涯学習との関係についてお伺いしたいと思っています。

執行機関 2月に学校運営協議会の代表者80名が集まり情報交換会を立ち上げるなど、コミュニティスクールを推進していく形となっています。現状として、学校運営協議会は立ち上げておりますが、協働本部として両輪で実施していくという流れにはまだ至っておりません。

___委員 市民センターでは役員の高齢化の問題があります。みと好文カレッジからの多様な提案も実施が難しい場合がでてくるのではないのでしょうか。

例えば、講座の実施について、夕方からなら講座に参加できたのに、という声も聞こえてくるが、みと好文カレッジのほうで市民センターに対して時間の制限をするということにはできないのでしょうか。

執行機関 各市民センターで講師との調整を含めて日時の決定をしていますが、参加者から夕方開催の要望が出た場合にはそれも含めて調整しているものと思います。こちらから市民センターに対して時間の制限はしておりません。

___委員 勤めている人は昼間の講座は参加できないので、参加者集めにも苦労している場合があるようです。

執行機関 参加者アンケート等のさまざまな声を踏まえて次年度の計画を立てていくように指導していきたいと思っています。

委員長 それでは、特になければ、以上ですべての審議を終了したいと思います。ありがとうございました。